いいね！はりま
町政レポート No.174

▲オリンピック聖火ランナーの藤川さんと

日本中、世界中の人々に言い尽くせないほどの「夢」と「感動」を与えてくれた東京オリンピック。インタビューに臨んだ選手たちの言葉に、必ずと言っていいほど「感謝」という言葉がありました。勝っても負けても、自分を支えてくれた人たち、応援してくれた人たちに、心から「ありがとう」と語る姿が印象的でとても美しいと感じました。コロナ禍にあって、ともに素晴らしい時間を共有できたことに感謝！お疲れ様でした。

◆新型コロナウイルスにより、多くのオリンピック関連行事が、中止になったり、形を変えての実施となりました。そうした中で、播磨町民である藤川千尋さんも聖火ランナーとして、沿道を走ることになっていましたが、予定が変更され、姫路城で行われた「兵庫県聖火点灯式典」への参加となりました。その後、役場まで、記念のトーチを持参していただきました。藤川さんのご厚意で、私も持たせていただき、その重みを実感させていただきました。しばらくの間、中央公民館に展示されますので、是非一度ご覧ください。さらなるご活躍をお祈りしています。

◆播磨町でもパラリンピックの関連行事が行われました。8月12日、大中遺跡で採火式を行い、その「火」を16日に神戸総合運動公園に運び、県内各市町から持ち寄られた「火」とともに、兵庫県の「聖火」として、東京のパラリンピック会場へと運ばれました。パラリンピックの成功を祈るみんなの思いがひとつに凝縮されたような「聖火」。兵庫県民の「がんばれ！」が選手たちに届きますように。

◆８月１日から、59歳以下16歳までの「ワクチン接種を開始いたしました。現在、集団接種も順調に進んでおりますが、最近若い方の感染が増えております。感染予防対策の徹底を、重ねてお願い申し上げます。

播磨町長　清水ひろ子

トピックス　まちのわだい

播磨町子どもサマーセミナーを実施しました

学校教育グループ ☎079（435）0545

夏休み期間を利用し、英語教室やロボット教室、プログラミング教室など、21の教室が開催され、約360人の子どもたちが楽しく学びました。

その１つ、親子理科教室では齋藤賢之輔さん（バンドー神戸青少年科学館　サイエンスアドバイザー）の指導で、電池のプラスとマイナスを上手につないで、LEDの明かりが灯るおもちゃを作ったり、ペットボトルを２本つないで水を落とすとき、空気穴をあけると上手に水が落ちていく様子を確かめたりしながら、親子で驚き、理科の楽しさを共有していました。

「夏休みラジオ体操」を実施しました

中央公民館 ☎079（437）6980

夏休みの毎朝、元気いっぱいみんなでラジオ体操をしました。毎年恒例のラジオ体操でしたが、去年はコロナ対応により中止となり、一年ぶりの復活です。

▲朝早く集まって体操しました

暑い夏休みの中、コロナ禍で外出や活動をひかえている子どもたちは、お友達との間隔をとりながら、毎日がんばりました！

楽屋裏

日差しが強すぎて痛いように感じるほど、厳しい暑さが続く夏です。播磨町だけでなく、全国的に猛暑のようで熱中症警戒アラートが頻繁に出されます。涼しいと思われる北海道でさえ高い最高気温が伝えられ、やはり年々気温が上昇していることが感じられます。

エアコンを入れっぱなしにすることで、電気の使用量が増えることは気になりますが、健康には代えられません。皆さまもご自愛ください。（宮）

全国高等学校将棋選手権大会出場

企画グループ ☎079（435）0356

第57回全国高等学校将棋選手権大会が和歌山県で開催されました。兵庫県代表として本大会に出場した加古川西高校1年生の佐々木優綺君（古宮）が、大会前に町長を表敬訪問しました。

佐々木君は中学生の時にも全国大会に出場しており、「優勝を目指して頑張りたい」と、抱負を語ってくれました。

▲兵庫県高等学校将棋選手権大会A級個人優勝の賞状を持つ、佐々木君

※全国大会では、予選を勝ち抜いて決勝トーナメントに出場したと報告がありました。今後も活躍を期待します。

兵庫県功労賞　櫻井美也子さんが受賞しました

生涯学習グループ ☎079（435）0565

兵庫県功労賞は、県政の伸展、公共の福祉増進に功労のあった方、その他広く県民の模範となった方を知事が県民を代表して表彰しています。

櫻井さんは永年にわたり民謡文化の保存・普及に積極的に取り組むとともに、播磨町文化協会会長及び東播磨文化団体連合会副会長などの文化団体において要職を歴任しており、地域文化振興に多大な功績をあげられたご功労に対し受賞されました。

▲町長に受賞の報告に来られました

きゃんぱすだより

２年ぶりの水泳　　播磨西小学校

清々しい初夏を迎えた６月中旬、播磨西小学校の児童たちは水泳の授業のため、プールに入りました。去年は実施がなかったため、２年ぶりのプールに入る児童も多く、「めっちゃ楽しみ！」「久しぶりだからちょっとこわいなあ」と楽しみな気持ちやちょっぴり不安な気持ちをつぶやきながらもプールへ入ることができました。

友達同士でふれあったり、話をしたりはできない状況ですが、先生の話をしっかりと聞いて距離を取りながら、安全に実施することができました。授業の終わりには記録会を行い、昨日までの自分の記録を更新するために一生懸命泳ぎました。また、記録を更新した児童や水が苦手ながらも必死に泳いでいる児童へ応援の気持ちを拍手で伝えていました。「25m泳げるようになった！」「もっとやりたい！」など前向きな言葉を子どもたちがつぶやいていました。このような状況ですが、安全に楽しく学ぶことができました。

わんぱくはりまっこ

河内（かわうち） 紀乃（きの）ちゃん・咲希（さき）ちゃん
（南野添）

明るく楽しい仲良し姉妹でね♪
（父＆母より）

※撮影時の年齢、名前は写真の左から順に表記。